

体験談『前立腺ガン』

依藤曳隆氏

チカコ健康サロン 4月25日体験談要旨

昨日で満86歳になりました。

私の人生を思い出してみますと、小学校6年生の時に大東亜戦争が始まりまして、12月8日、真珠湾攻撃で日本の特殊潜航艇が、ハワイで大成果を上げてアメリカ軍の戦艦を片パシから撃沈したという朗報が入ったのを覚えています。

雑炊で、お腹は減っても

誰も病気をしなかった

小学校6年生から中学校1・2年になる頃から米が配給制で、量がものすごく少なくなりまして、それも米はほんの僅かで、麦とかヒエ、大豆とかで、代用食と呼んでいました。中学校1・2年生では腹が減りまして、母親が菜っ葉とか野草（畑に生えている草）などを増量材のような格好で入れ、雑炊とか言っていた記憶があります。

皆、そのような食事でしたが、友達も病気をするような人はいなかった。お腹が悪くなったとか、内臓系の病気はほとんど聞かなかったような気がします。

今から思うと、それが生野菜療法みたいな効果だったのだなあと思う次第です。

中学3年になりますと学徒動員で町工場へ、私共は神戸市長田区の西の方で、六甲山の方から粘土を掘出し水槽のでっかいのを作るのが仕事でした。その頃は木造家屋ばかりだったので、もし空襲されるとすぐ焼けてしまう。被害が広がらないように消火用に

大きい水槽を作るのです。

学校では授業も全然ないし、海軍志望する連中が増えてきました。私はちょっと目が悪かった



ものですから、海軍経理学校へ…東京の品川に本校がありましたが、3月に東京の大空襲があり、急遽奈良県橿原神宮の近く畝傍中学に入校する事になりました。

5月に海軍経理学校に入ると、敵性語である英語を何時間も習った記憶があります。

米軍が沖縄に上陸し、そのうち本土上陸するというので、爆薬を抱えて敵戦車に飛び込んで行く練習々々の日を過ごした記憶があります。

1945年8月15日終戦。昭和天皇の終戦の玉音放送を残念がって聞いたものです。

同年8月末に除隊になり、京都経由の貨車で帰ったのですが、西宮が焼け野原になっていましたが、荷物を担いで帰ってくると、我が家が残っていて、あんな嬉しかった事はなかったですよ。

土曜休みも無しで、

毎日仕事付き合いで、肉と酒で夜中帰宅

その後、商社に就職し、繊維関係の仕事を

していました。40才位になると付き合いが激しくなって、それも仕事のうちで毎晩得意先と繁華街で肉とか酒の付き合いでタクシーで帰っていた記憶がございます。

初めは土曜日も出勤日でしたが、5日制になると土曜は休みですが、その土曜も出て仕事をしていました。

退職後、前立腺ガンが見つかる

65歳で退職。その頃、高齢者用の医療診療がタダというので、県立病院で診てもらったらですね、ガンの数値マーカーが、「普通の人は4までだが、あなたは18もありますよ!」と言われ、調べたら前立腺のガンです。

大阪森ノ宮の府立成人病センターに前立腺では有名な先生が居られるというので行きましたら、やっぱり前立腺ガンでした。

家族を皆呼んでくださいと言われて、病室にいっぱいレントゲン写真を貼られて、どうしても手術せねば駄目だと病室まで決められたんですよ。でも、手術はしたくないと言って退院しました。

菜食整腸を始める

その時、知り合いの方が、楊先生という方が、西宮の夙川で腸のマッサージと生野菜の健康法をやって居られると言われて、西宮に住んでいましたので、車を飛ばして行きました。

お会いして前立腺ガンだとお話したら、即座に『生野菜と腸マッサージで治りますよ。』と言われたんですよ。

へーと思って聞いていましたが、皆川先生の体験も聴きまして、しばらく通わせてもらいました。

前立腺ガンが消える

しばらくして、府立成人病センターに手術をやめる報告に行き、血液検査をすると血液が綺麗になっていた記憶があります。

結局手術はせずに抗がん剤も止めて、楊先生のお世話になって、前立腺ガンは消えてし

まいました。

新大阪に移られてからも通いました。途中しばらく途絶えましたが、ここへ来る前のところも通わせていただいて、今もお世話になっています。

86歳の今、血液検査では優等生

今、病院では血液検査で「85歳になってこんなに綺麗な血液の人は見たことない。」と医者がびっくりするんですから、こっちも驚いてありがたいな、と思っています。

この健康法をさせていただいたお陰であります。

皆川榮治、容子先生が、数号前の会報に「難病を菜食整腸で治された」と書いておられましたが、興味深く読ませていただきました。

私の友達が次から次と亡くなっているんですよ。中学時代同期のラグビー部員10人の内、昨年最後の一人が亡くなって、今私一人生きていますよ。

海軍同期の仲間の中でも一番元気な感じがします。

これも、菜食整腸健康法のおかげと感謝している次第です。

羽間先生の話

今朝、家を出るときに、元大阪市大の羽間先生が、去年11月3日にここでなさった講演録をパッと思いだしてメモしたのですが、『食は命なり』と言われたんですね。

「野菜が良い。それに味噌と胡麻、玄米。体は動かさないと腐る。元気で長生きするには薬は飲まない方がよい、今飲んでる人は徐々に減らしなさい。抗生物質の恐ろしいのは、体の必要な菌まで殺してしまう。薬を飲まない体づくりをしなさい」

この生菜食整腸健康法は宝だと思います。皆さんも続けていただきたいと思います。

元気で長生きのコツは、続けることです。私が続けられたのは、家内のお陰です。家内も一緒にやってくれました。

今は週1回ネイティブヘルスで施術を受け生野菜料理を頂いています。

体験談 『糖尿病』

田中恒善氏

病気をしたこともなかったのに突然糖尿病に

私は、病院に行ったこともないような人間でした。あるとき、守口市が年に一回実施している健康診断の案内状を貰ったので受けに行きました。3日ほどたってその保険センターから「ご主人の血糖値が280になっていますからすぐ病院に行ってください」という電話が入ったのです。普通でしたら2週間前後に手紙で返事が来るんですが、余程悪かったと思うんですが、私は今まで病気をしたことがないので何の思いもなしに医者に行ったわけです。するとやはり280から90位有り、糖尿病だと云うのです。

1週間薬を飲んでも血糖値は上がる

そこで2週間分のお薬を貰って、朝昼晩飲みました。1週間後、知り合いの健康食品を売っているお店に糖尿病に効くお茶というような看板がかかっていたので、聞きに行きましたら店のご主人が「今食事されたのなら、4時半頃にもう一回来られますか？」とおっしゃるからなんのことかなと思いつつ、4時半に行きましたら、ご主人が血糖値を測る機械をもってこられて測ると320になってたんです。薬を飲んでいのに上がったのです。「こりゃあかんで、病院に行ったらすぐ入院やで、あんた明日12時に十三の駅まで来れる？」というお話があって、そのときには奥さんも一緒に来てくださると云うことでした。

翌日12時に待ち合わせたのですが、何のために行くのか何も話をされなかったんです。

半信半疑で菜食整腸を始める

そこで楊先生から説明を受けました。楊先生は日本語でおしゃべりになっていました。私は騙されているのと違うかな・・・という感じを受けました。が横に居られた皆川先生が自分の体験談をお話しされたのを家内が熱心に聞いてくれていました。



食事をこれからしますので一緒に、と言われ、へエーと思って頂いたのが、今の野菜とななこっこの食事療法でした。

家内も一緒に食事を頂きました。

そして、せっかく来たので腸もみ体験をお願いして、二人共40分施術を受けたんです。

薬を1週間飲んだ時にここにきたのですが、楊先生が「糖尿病なんかは病気の内にはいらん」というようなことで「薬は今日帰ったらすぐに捨ててください、だけど私は医者じゃないから、とりあえず薬はもらいに行って、血糖値を計っていただかないといかんで医者は続けてください」と言われました。

私は本当に贅沢で、付き合いが多く肉は食べるわ、酒は飲みに行くわ、夜更かしはするわ、ずーとそういう生活をしていましたので、これからは、それを改めないといけません。それで家内は、ここで食べたものを明るる日から作るために勉強してくれました。

もし僕が入院すると治るまで何ヶ月掛かるわからない、その間に僕の仕事（お客）がほかに行ってしまったら、今度治ったときに果たして今の仕事ができるかどうか分からない。家内は、それが一番心配やっらしいです。

楊先生は「この健康法を続けながら仕事は一生懸命してください。」と仰るので、家内が「その話に賭けようやないか」ということで、10回分の券を頂いて予約したんですね、

で、3回目位ですかね、楊先生が私のお腹を揉みながら、「田中さん、貴方はだまされたと思ってたでしょう」と片言の言葉でおっしゃるんです。僕はほんまにそう思っていましたので

「ハイ！」というと、ニタツと笑いながら「血糖値なんかそんなの問題じゃない、もう心配せんでいいから」と言われました。

薬を飲まずに血糖値が下がった

そして2週間後、病院へ行って血糖値を測ると320あったのが170になってたんです。医者は「薬が効いてきましたね」と言いますが、私は全然薬は飲んでいませんでしたので「アラ！これはもうこの療法に賭けなあかん」という気持ちに初めてなりました。僕の貰ってる薬は効かないのに他の人に飲ませたらいかんと思っで親切心で「僕は食事療法してますんで」と先生に伝えたら「あ、そうですか、そんなもん一生できるもんやないし」てな感じで相手にしてくれない、あ これ以上言うてもだめやと思っで、それ以上医者には何にも言いませんでした。

とりあえず10回施術が済んだ時に、家内が「もう10回しよう」と言うて続けました。

コールドタオルのような便に仰天

18回目の時にトイレで真っ黒な便がでました。コールドタオルみたいなもので、便器にべったりついていました。僕はびっくりしましてね、そんな経験は今までしたことないし、こうこうで真っ黒な便が出ました。というて皆さんが「おめでとうございます」と手をたたかれたんです、なんのことかなと思っでたね。楊先生は「田中さんの60年間の腸に溜まった毒がみな出たんです。これから元気になられますよ、90まで現役でいけますよ」と冗談でおっしゃったのをいまだに覚えています。これが宿便というものだと教えられました。

30回施術で血糖値100前後に

結局、30回施術していただいて、血糖値は100前後になっていました。然し医者は「薬を飲んでるから正常だけど、その薬を止めるとまた元に戻るから薬をずーと飲んでください」と言われ、行く度に薬をもらっていましたが、

実は一切飲んでませんでした。

家内は、僕の性格をよく知ってますので、一人ですると、文句を言ったり、すぐやめたりするので、家内もずーっと同じ生菜食をしてくれておりました。僕は目の前で感謝するような言葉はようしないんですが、心の中では本当に一緒になって食事をしてくれたから続けられたんだと思っで、家内に感謝しています。

平成13年6月にここにお世話になってもう約14、5年になりますが、毎年1ヶ月に1回検査していますが血糖値は正常、ちょっと血圧が高いので薬が出されますが、全然飲んでません。

未だに元気で現役

未だに元気に現役で働かせていただいております。楊先生が「90まで現役で居られますよ」と言われましたが、本当にそう思います。

こういうようなことで、皆川先生からお電話を頂いた時に断ろうかなと思ったんですが、ふっと14年前の事を思い出して、やっぱり、今こうやって現在ここに通って菜食整腸をされている方に少しでも私の経験を伝えて、続けていただくと、きっと元気になられると思っでるので、これを伝えたいなと思っで、今日、来させていただきました。

本当にこの健康法は間違いのないです。これをするのとしらないのでは大違いです。

最初にここNHを紹介していただいた方に感謝しています。

皆川先生も、ずっと立派な仕事を続けられて感謝しています。

未だに「ななこっこ」は食べています。生野菜も朝昼晩食べています。家内はいつも腸を揉んでくれています。

健康で長生きするのが一番です。



ネイティブヘルス設立15周年記念会

NPO法人ネイティブヘルスは、2000年9月1日に認証され、同7日に設立。同年9月27日、非営利活動法人を支援するために、有限会社ネイティブヘルスを設立して、本年15周年を迎えました。(1998年8月、皆川容子主催で楊仙友先生第1回講演会を開催した日を創業とします)

ここに至るまで、大波、小波色々ありましたが、15年も続けてこられましたことは、偏に皆さま方のご支援の賜物と感謝しております。

そこで、近況ご報告と感謝の気持ちをお伝えいたしたく、下記の通り記念会と祝賀会を開催致します。

記念会に、楊 仙友先生アメリカよりご来日

楊 仙友先生は、この「菜食整腸健康法」の根幹となる腸マッサージとローフードによる健康法をご考案され、ネイティブヘルス設立にご尽力頂きました。今日あるのは楊先生のお陰と言えます。

当日は、はるばる米国ロスアンジェルスよりお越し頂いて、お話頂くことになっております。

楊先生は、現在コーネル大学、英国のオックスフォード大学教授のご協力を得て、この療法の医学的証明にご尽力されておられ、当日は、この間のお話をさせていただくことになっています。

祝賀会での昼食には、ホテル阪急インターナショナル料理長のご協力で、肉類を退け、少しの魚介類と野菜中心の特別メニューをたっぷりをご用意致しております。ご期待くださいませ。

会員様以外の方も多数お誘い合わせて、是非ご出席賜りますようご案内申し上げます。

2015年10月9日(金)

11:00 楊 仙友先生講演

12:30 祝賀会

14:00 終宴予定

於：ホテル阪急インターナショナル

大阪市北区茶屋町19-19

☆詳細は

別紙ご案内状をご覧ください。

楊 仙友先生と皆川容子→
(1998年、創業当時)



和歌山：橋本の「ゆの里」で菜食整腸合宿

一日3回ベリータッチ施術、朝昼晩ローフード

合宿中、いつでも温泉に入れます

菜食整腸健康法は、徹底してやるとかなりの成果が見られます。

過去に何回か合宿をして、徹底してベリータッチ施術とローフードを1週間続けて、目覚ましい変化を遂げた方が何人も居られます。

<例その1> 50代の女性、潰瘍性大腸炎で、食事が一切できず栄養剤のみ、一人では外出ができない生活をしている方が、米子からお嬢様の車で能勢の合宿に参加されました。2日目の夕食時に、自発的に美味しそうだからと少し野菜を召し上がりましたが、夜中下痢も腹痛もなく、翌日から、バリバリローフードを召し上がります。4日目、全員で妙見様にお参りすることになり、その方も車でご一緒し、麓で私と一緒に皆さんのお帰りを待つことにしたのですが、ちょっとだけと階段を昇り始め、結局お参りして皆さんと一緒に帰ってこられたのです。合宿の最終日には、持ってきた栄養剤は減らずに全部持って帰ることになった、と笑っておられました。帰りはお迎えを断って一人で高速バスで帰られる程お元気になりました。

<例その2> 20代の男性、やはり潰瘍性大腸炎で蠟のような青白い顔で、下痢と下血がひどく、もよおすとトイレに間に合わないと、簡易便器ご持参でお母様付添で参加されました。最初、施術以外は寝ている状態でしたが、3日目から一緒に食事をし、皆さんと話すようになりました。幸い、参加されていた前田様がお父様のように、友だちのように接して下さったことが良い影響をしたと思います。見違えるように元気になり、一度も便器を使わずに帰られました。

<例その3> 60代女性、パニック障害で一人外出ができずご主人と一緒に参加されました。やはり薬を山ほど持ってこられました。最後には殆ど飲まずに持って帰られました。とても朗らかになり、皆さんと一緒に温泉に行ったり、山歩きをするようになっていました。

日 時	2015年10月25(日)～31日(土)		
場 所	和歌山：橋本「ゆの里、ホテルこのの」		
参加費	一般	95,000円	(一日3回施術、朝昼夕食ローフード、調理実習)
	会員	88,000円	(同 上)
	賛助会員	78,000円	(同 上)
ホテル代	1泊6,480円×6泊(2人1室)各自ホテルにお支払い頂きます。		
定 員	6名、定員になり次第、締切ります。		
申し込み	(有)ネイティブヘルス		

電話06-4802-6880 FAX06-4802-6881

☆会 員＝入会費3,000円、年会費 3,000円

☆賛助会員＝入会費3,000円、協力金月1,000円

(協力金は、ゆうちょ銀行より自動引き落としの手続きをして頂きます。)

★参加お申込みの方に、詳細をお送りいたします。

主催：有限会社ネイティブヘルス

共催：NPO法人ネイティブヘルス

知識 (チ) からだ (カ) こころ (コ) の健康を考える人たち、仲間づくりのサロンです

月・日 時間	講師 (敬称略) 演題	会 費	備 考
8月 1日 (土) 14:30~16:00	杉原先生 「腸内細菌と菜食整腸健康法」※ 指導者研修同時開催	会員 無料 一般 1000円	
10月 9日 (金) 11:00~14:00	ネイティブヘルス設立15周年記念会 楊仙友先生 講演・祝賀会 於 ホテル阪急インターナショナル		5頁参照
10月 25 (日) ~ 31 (土)	菜食整腸合宿 和歌山・橋本「ゆの里」		6頁参照

予定は、変更する場合があります。 前日までに必ずご予約してください
 問合せ・予約 電話06-4802-6880 FAX06-4802-6881

《講師プロフィール》

杉原 伸夫 (すぎはら のぶお)

- 1955年 大阪生まれ
- 1981年 大阪府立大学大学院農学研究科修了
製薬会社 勤務を経て
- 1985年 滋賀医科大学医学部入学
- 1991年 同大学卒業
付属病院第2内科で研修開始
- 1992年~ 京都、兵庫の病院等に勤務の後
- 2001年 西宮市に杉原医院開業
- 2015年から NPO法人ネイティブヘルス理事長

※NHKスペシャル

「腸内フローラ

: 驚異の細菌パワー」の映像
 を見ながら、医師の立場から、菜
 食整腸との関連を解説いたしま
 す。

ホテル ラ・スイート ランチ付きセミナー

Native Health Seminar

『腸内細菌パワーUPのための腸活性化法』

講師：皆川容子

日 時 2015年7月28日 (火)

11:00 セミナー

12:45 菜食のスペシャルランチ

(バターも生クリームも使わないヘルシーランチ)

14:00 ベリータッチ=腸もみ体験 (希望者1,000円)

会 場 ホテル ラ・スイート 3階宴会場プレジール

参加費 10,000円 ラ・スイート レディース会員 8,000円

《ご予約・お問い合わせ》

ホテル ラ・スイート 電 話 078-371-1111

FAX 078-371-1110

主催：ホテル ラ・スイート ハーバーランド神戸

Raw food Cooking

超簡単、火を使わない料理

いよいよ本格的な暑さがやってきます。

暑さ凌ぎに、ヘルシーなスペインの冷たいスープは如何でしょうか。

本来なら生クリームやパンを使い、氷を入れるのですが、ここでは、よりヘルシーに豆腐を使いました。また、冷スープとはいえ余り冷たいのは、腸を冷やして良くありませんので、氷の代わりに常温の水にします。爽やかなスープで、酷暑を乗り切りましょう。

《スパイシーガスパチヨ》

材料	トマト	大1個
	赤パプリカ	1/4個
	玉ねぎ	1/6個
	セロリ	10cm
	絹こし豆腐	1/3丁
	水	1カップ

材料は、全て適当に切って、水と下記の調味料をミキサーにかける器に注ぎ、バジル等を添える(味をみて、調味料は加減して下さい)

調味料 (オリーブオイル大匙1、蜂蜜小匙1、レモン汁1/2個分、塩、胡椒、カレー粉各少々)

☆パプリカはビタミンCが豊富です。なんとビタミンCの代表格であるレモンより多く含まれています。他のビタミン(AとかB)も豊富ですが、熱に弱いので、生で食べることをお勧めします。トマトのリコピンは活性酸素の発生を防ぎ、玉ねぎは血流を良くする作用等、良いことづくしのスープです。

夏期休暇のお知らせ

8月14日(金)～17日(月)
《六甲サロンは営業しています》
電話078-871-2987

新スタッフ紹介

出口 明美 (でぐち あけみ)

長年、経理全般、パソコンの仕事の傍ら、対外交渉を始め、人から相談を受けることが多い仕事をしてきました。

NHのHPで菜食整腸に大変興味を持ち、ここで仕事ができることにわくわくしています。健康で明るく几帳面な性格。何卒よろしくお願い致します。

あとがき

ついこの間10周年記念をしたばかり、とっていましたのに、あれからもう5年も経ちました。過ぎた年は早いものです。15年前、NPOと会社を立ち上げていつまで続くかと案じながら、気が付けば15年です。宣伝もしないのに今まで続けられたのは、本当に皆さまのお陰と感謝、感謝の毎日です。

15年の記念に、この健康法を与えてくださった楊先生に是非おこし願えればと、思い切ってアメリカ迄お電話しましたところ、喜んで来て下さるとのこと。今までも随分大勢の方から、「一度楊先生にお会いしたい」というお声を頂いていましたので、やっと皆さまのご希望が実現する運びとなりました。

又、久しぶりに合宿をします。場所は、ご存じの方も多いかと思いますが、高野山の麓にある「ゆの里」です。社長の重岡様には、2月にチカコサロンで「お水の話」をしていただきました。

昨年宿泊しました時に、とてもお湯が良く一日中自由に温泉に入れること、ホテルの施設も良いこと等で、先日、合宿のお願いに伺いましたところ、快くお引き受け頂きました。ベリータッチとヘルシーな食事を徹底し、かつ温泉の効果が和合し、心身共にリフレッシュできる1週間です。是非ご参加を!!

今夏も酷暑が続くと聞いております。ベリータッチとローフードで楽しい夏をお過ごしください。ym